

# 7月市長定例記者会見 内陸線再生計画は10月までに



定例会見を行う岸部市長

市長定例記者会見が7月4日、市役所で行われ、秋田内陸線の再生計画や空席となっている収入役などについて考えを示しました。

はじめに合併してから初の支所長会議が行われたことについて触れ、「類似するイベントの統一の件や、市内の主要施設、特に各支所の2階が空いていることから、その有効活用について話し合われた。貸出となれば目的外使用という問題があり、また、様々な情報があるため夜間の管理問題と併せ、今後の課題とした」と述べ、この支所長会議は2週間に1度各支所持ち回りで行うこととしたと説明しました。

市となって初の定例議会を終えた感想について「71人の議員で初日の大綱をみて1日で終わるはずが2日かかった。各地区の議員がそれぞれ

の立場で鋭い意見を出され、非常によい議論となった。予算の審議で政策的なものがないとされたが、旧町時代に17年度の実施すべき計画を立てているためそれらを最大限尊重するのが私の考え。4町の予算を合わせた額より11億円多くなり、それだけ市民サービスが向上した。これが岸部カラーである」と語り、議員自らが条例の一部改正を行った事に関しては「市民代表の皆さんが審議した結果であり、同じ仕事をするわけだから、今ある予算内で平均化したことは尊重したい」と述べました。

内陸線再生計画については「来年度の国の予算に間に合うよう今年の10月までに提出しなければならぬ。県主導か地元主導かで南北間で温度差はあるが、地元で計画を提出したい。内陸線は生活路線と観光路線2つあるが、生活路線では通学が減りつつある。現在、自転車の持ち込みを買い物の時間帯に設定しているが、これを通学者にも行えば乗車率が上がるのではないかと観光路線では、空港の大阪便が通年運行になったので、内陸線と結びつけることを考える協議会を開きたい」と方針を示しました。

最後に空席となっている収入役人事については「国の方で収入役を置かなくともいいという方向になってきた。町長時代1年間置かなかったが差し支えはなかった。9月議会への提案も今のところ考えておらず、保留したい」と説明しました。

## 市長日誌

6/16  
30

16日(木) 平成17年第3回北秋田市議会定例会一般質問3日

17日(金) 平成17年度消防救助技術交流大会に出席

18日(土) 一般国道103号改築促進期成同盟会の監査を実施

18日(土) 東北直轄ダム事業促進連絡協議会の監査を実施

22日(水) 大館北秋田中学校総合体育大会バレーボール競技開会式に出席

22日(水) 大館能代空港ターミナルビル(株)第10回定時株主総会・第45回取締役会に出席

23日(木) 鷹巣町中央行政協力委員会定例総会懇親会に出席

24日(金) 平成17年第3回北秋田市議会定例会最終日

26日(日) 北秋田市誕生記念航空自衛隊北部音楽隊演奏会を参観

27日(月) 森吉山ダム公開セミナー開講式に出席

28日(火) 統合病院にかかる協議のため県を訪問

28日(火) 秋田内陸縦貫鉄道(株)第21回定時株主総会・取締役会に出席

29日(水) 平成17年度森吉地区納税貯蓄組合長会議に出席

30日(木) 北秋田市建設業協会(仮称)設立総会懇親会に出席

30日(木) 行政協力委員合川地区全体会議に出席

30日(木) あきた北央農業協同組合第6回通常総代会に出席